

令和4年白浜町議会第3回定例会 会議録(第5号)

1. 開 会 令和4年9月21日 白浜町議会第3回定例会を白浜町役場
議場において9時58分開会した。

1. 開 議 令和4年9月21日 10時00分

1. 閉 議 令和4年9月21日 10時44分

1. 閉 会 令和4年9月21日 10時44分

1. 議員定数 12名

1. 応招及び不応招議員の氏名
第1日目のおり

1. 出席及び欠席議員の氏名

出席議員 12名 その議席番号及び氏名は、次のとおりである。

1番	長 野 莊 一	2番	堅 田 府 利
3番	溝 口 耕太郎	4番	正 木 秀 男
5番	廣 畑 敏 雄	6番	横 畑 真 治
7番	西 尾 智 朗	8番	水 上 久美子
9番	松 田 剛 治	10番	小 森 一 典
11番	黒 田 武 士	12番	辻 成 紀

欠席議員 なし

1. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名は、次のとおりである。

事 務 局 長 濱 口 伊佐夫 事 務 主 任 鈴 木 保 典

1. 地方自治法第121条の規定により、議場に出席した者の職氏名は、次のとおりである。

町 長	井 潤 誠	副 町 長	愛 須 康 徳
教 育 長	豊 田 昭 裕		
富田事務所長			
兼農林水産課長	古 守 繁 行	日置川事務所長	久 保 道 典
総 務 課 長	寺 脇 孝 男	税 務 課 長	中 尾 隆 邦
民 生 課 長	中 本 敏 也	住 民 保 健 課 長	泉 芳 明

生活環境課長	榎本 崇広	観光課長	新田 将史
建設課長	玉置 康仁	上下水道課長	清水 寿重
地域防災課長	木村 晋	消防長	濱田 孝
教育委員会 教育次長	廣畑 康雄	総務課副課長	山口 和哉

1. 議事日程

- 日程第1 議案第82号 白浜町水道料金の額の特例に関する条例の一部を改正する条例について
- 日程第2 議案第83号 令和4年度白浜町一般会計補正予算（第6号）議定について
- 日程第3 議案第84号 令和4年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）議定について
- 日程第4 議案第85号 令和4年度白浜町水道事業特別会計補正予算（第1号）議定について
- 日程第5 報告第5号 第25期南紀白浜コミュニティ放送株式会社経営状況の提出について
- 日程第6 報告第6号 令和3年度公益財団法人白浜医療福祉財団経営状況の提出について
- 日程第7 発議第4号 議員派遣について
- 日程第8 発委第10号 閉会中の継続調査申出書（議会運営委員会・総務文教厚生常任委員会・観光建設農林常任委員会・議会広報特別委員会）
- 日程第9 発委第11号 閉会中の継続審査申出書（決算審査特別委員会）

1. 会議に付した事件

日程第1から日程第9

1. 会議の経過

○議長

おはようございます。

ただいまの出席議員は12名です。地方自治法第113条の規定に基づき、定足数に達しておりますので、ただいまから白浜町議会令和4年第3回定例会5日目を開会します。

開議に先立ち、諸報告を行います。

番外 事務局長 濱口君

○番外（事務局長）

諸報告を行います。

本日の議事日程はお手元に配布のとおりであります。

本日、休憩中に議会運営委員会の開催をお願いします。

本日、議会閉会后に議員懇談会、議会広報特別委員会の開催を予定しておりますのでよろしくお願ひいたします。

以上で諸報告を終わります。

○議 長

諸報告が終わりました。

それでは、次に決算審査特別委員会の委員長、副委員長が決定しましたので、ご報告いたします。

委員長に12番 辻君、副委員長に2番 堅田君と決定いたしましたので、ご報告いたします。

本日は暑いかと思っておりますので、上着を脱いでいただいても結構かと思っております。

これより本日の会議を開きます。

(1) 日程第1 議案第82号 白浜町水道料金の額の特例に関する条例の一部を改正する
条例について

○議 長

日程第1 議案第82号 白浜町水道料金の額の特例に関する条例の一部を改正する条例
についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

(なしの声あり)

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

質疑を終結いたします。討論を行います。討論ございませんか。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結いたします。採決します。お諮りします。

議案第82号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

したがって、議案第82号は原案のとおり可決されました。

(2) 日程第2 議案第83号 令和4年度白浜町一般会計補正予算(第6号)議定につい
て

○議 長

日程第2 議案第83号 令和4年度白浜町一般会計補正予算(第6号)議定についてを

議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

○議 長

10番 小森君

○10 番

補正予算書の6ページ。2歳入 款15国庫支出金 項2国庫補助金 目1総務費国庫補助金で、今回の補正で新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が計上されています。で、歳出のほうではそれぞれの用途について書かれています。今回このような使い道はですね、最初の水道料金にも書かれてる、やっぱりコロナ禍における物価高騰等により影響を受けている町民等への支援というものが、大前提であることは確かでありますけども、今ですね、今年度この臨時交付金きましたけども、今回でこれ一応終わりになるんでしょうか。もしくは、まだそういうほかに使えるものがあるとしたら、残ってる、残金とかあるんでしょうか。説明お願いいたします。

○議 長

番外 総務課長 寺脇君

○番 外（総務課長）

ただいま臨時交付金の件について、ご質問いただきました。

報道もあったかとは思いますが、今回また新たに臨時交付金ということで白浜町のほうに7,300万円、新たに交付されることになってございます。

今後もどういう形で交付されるかという部分についてはまだ不明なんですけども、現段階では交付が白浜町7,300万円、今後どういった事業に充てるかというのは、また議会のほうにも提案させていただく予定にしております。

以上です。

○議 長

10番 小森君

○10 番

ありがとうございます。今の現状ですね、必要なところに支援していくということで、今回この用途考えてくださったと思うんですけども、もし今後も引き続き交付金が増額されるようであれば、また本当に必要なところ精査してそこに温かい支援を差し伸べていただければと思います。

あともう一点はですね、その関連で、補正予算書の8ページの款7観光費 項2商工費 目2商工振興費で、油のですね、補助金を計上されています、340万円。参考資料でも、ここにですね、貨物自動車運送事業に必要な許可等を受けている事業者って支給対象が明記されてますけども、この対象のですね、車両の台数などは大体何台ぐらいあるんでしょうか。そういうの把握されて、多分予算つけられていると思われんですけど説明いただけますか。

○議 長

番外 観光課長 新田君

○番 外（観光課長）

想定の対象車両ですけども、そちらにあるように使用の本拠が白浜町という登録で、一応一般貨物という形で約50台を想定しております。また軽貨物という形で、軽自動車による

運送事業の方の車両を約30台というふうに想定をさせていただいてございます。

○議 長

10番 小森君

○10番

今課長から説明いただきまして、その台数でカバーできるのであればよろしいんですけども、またそれに準じるといいますか、必要とされる事業者があればその都度対応していくということによろしいでしょうか。

○議 長

番外 観光課長 新田君

○番外（観光課長）

一応今回は、貨物自動車運送事業者という形で縛らせていただいておりますので、今のところこれで大丈夫だとは思っておるんですけども、またいろんなご要望等があれば、その都度精査をさせていただいて判断をさせていただきたいと思います。

以上です。

○議 長

3番 溝口君

○3番

1点だけ確認をさせていただきたいと思います。

参考資料の53-1の生活応援商品券の配布事業について、少し確認をさせていただきます。最後の7番の取扱店の登録のことですけれども、これ今までに数度やって、その都度商工会に加盟している、また加盟していない方の、商売されている方でもずっと対等にしてくれと、そのような申出があったということで広げたと思うんですけども、それで今までのリストできあがってると思うんですけども、今回また令和4年の9月下旬から募集すると書かれておるんですけども、これは今までの分の登録されている方は、ずっと取り下げてくれという方まああ別として、それ以外の登録された方は既に登録して、また新規のというような意味合いなんですか。

そこら辺ちょっと教えてください。

○議 長

番外 民生課長 中本君

○番外（民生課長）

今回新たな事業という位置づけで、白浜町、日置川町両商工会に加盟店と前回募集した店舗54件、合わせて424店舗ございます。今回も前回参加していただいた店舗に加え、新たな店舗募集も行う予定です。前回参加いただいた商店についても、募集して応募していただく予定にしております。

○議 長

3番 溝口君

○3番

ほいたらもう一度一からやり直すというような形かなと思うんです。そんな無駄なこと、同じことするわけやから以前登録しているやつについては、同じ日置、白浜の商工会に加盟されている方と加盟されていない方でも、うちとも入れてよと言うてそのリストはでき

あがってると思うんです。そのまま有効にいかせたらわざわざこんな再度同じような募集かけんでもやね、ええんちゃうんですか。あとまた、以前にもまだうちとこはええんやというような方が、いや今度はうっとこ入れてよという方だけ受付したらええんちゃうんですか。わざわざ、また二度手間というんか、新たなまた時間かかるようなことせんでもええんちゃうんですか。どうなんですか。

○議 長
番外 民生課長 中本君

○番 外（民生課長）

前回のものについては、令和3年度生活応援商品券という形で募集させていただきました。今回、令和4年度生活応援商品券という形で募集させていただきます。

前回、応募していただいた方には意向調査をした上で登録していただくように考えております。

○議 長
3番 溝口君

○3 番

そういうふうなものと違って、これどうせコロナ業務の代理してくの商工会さんがされるんでしょ、多分。そうじゃないんですか。商工会さん、窓口になってずっといろんな使った券の集計とかするの商工会にやってもらうんでしょ。だから、今までの分の資料いかして、もっぺん手間かけて募集せんでも同じような商品券の扱いのことの事業やから、これ広報かなんかでポンと告知したらいいだけと違うんですか。ほんで、新たに登録されてないような事業の方で登録してほしいという方は、商工会なるんか総務課になるんか知りませんが、町になるんか知りませんが、ずっと連絡してくださいと。それでええんちゃうんですか。

新たにまたやり直さなあかんというような何か理由あるんですか。

○議 長
番外 民生課長 中本君

○番 外（民生課長）

店舗募集については役場で行うこととしております。

前回応募されたところについては、意向確認させていただいてスピードアップ図りたいと思います。

○議 長
3番 溝口君

○3 番

ちょっと休憩して。私の言やることに答えてないからよ。

○議 長
暫時休憩します。

(休憩 10 時 11 分 再開 10 時 13 分)

○議 長
再開します。

○議 長
3番 溝口君

○3 番

もう一度再度するという、私からいうたら二度手間かなと思うんですけども、そしてらもう一度こういう形で告知のですね、ずっとみなさん対象の商売されている方にずっと分かりやすいように、そこら辺の告知だけちゃんとしていただくように、それだけお願いしたいと思います。

○議 長

番外 民生課長 中本君

○番 外（民生課長）

告知につきましては広報紙であったり、一般紙であったり、地方紙ですね、広報、インターネット等で広報してまいりたいと思います。

○議 長

ほかに質疑ございませんか。

（なしの声あり）

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議 長

質疑を終結いたします。討論を行います。討論ございませんか。

（なしの声あり）

○議 長

討論を終結いたします。採決します。お諮りします。

議案第83号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議 長

異議なしと認めます。

したがって、議案第83号は原案のとおり可決されました。

（3）日程第3 議案第84号 令和4年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）議定について

○議 長

日程第3 議案第84号 令和4年度白浜町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）議定についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

（なしの声あり）

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議 長

質疑を終結いたします。討論を行います。討論ございませんか。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結いたします。採決します。お諮りします。

議案第84号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

したがって、議案第84号は原案のとおり可決されました。

(4) 日程第4 議案第85号 令和4年度白浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)議定について

○議 長

日程第4 議案第85号 令和4年度白浜町水道事業特別会計補正予算(第1号)議定についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

(なしの声あり)

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

質疑を終結いたします。討論を行います。討論ございませんか。

(なしの声あり)

○議 長

討論を終結いたします。採決します。お諮りします。

議案第85号は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

したがって、議案第85号は原案のとおり可決されました。

(5) 日程第5 報告第5号 第25期南紀白浜コミュニティ放送株式会社経営状況の提出について

○議 長

日程第5 報告第5号 第25期南紀白浜コミュニティ放送株式会社経営状況の提出についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

○議 長

3番 溝口君

○3 番

私のほうから1点だけちょっとお聞きしたいと思います。

特に放送業務の概要、ちょうどこちらのページ数でいいましたら2ページに放送業務の概要が都度都度書かれております。その中で業務というわけではないんですが、今年の3月、4月か、我々議員のちょうど改選の選挙がございました。

FM放送局白浜の、白浜町も大株主でした。それで、今日だったら我が町の放送局であります。ですから、4年に一度の議員選挙であったりとか首長選挙であったりとか、これやっぱり町にとっての一大の出来事の行事で、行事というかそういうふうな形であろうと。ですから、我が町の放送局が我が町のトップを決める首長選挙であったり、それぞれの議員を決める選挙の速報というんですか、そこまでのずっとの速報じゃなしに、例えば選挙管理委員会が発表するときには、そこでリアルタイムにずっと流すとかそういった方法は取れんかというか取るべきやと。過去にもそういうふうな放送がございました。

今回も選挙の前に、今は副町長になられておりますが、当時の総務課長の愛須総務課長に、そういうふうなことは可能かと言いましたら、可能であると。もし、必要な資金が要るんだったら、それはもう当然請求すべきであるし、そのようにして町民の関心事の一大事の一つのそういった政治的な行事なんで、当然すべきだと、それで当然放送があったわけです。放送の内容というのはリアルタイムじゃなくして、何か大分時間たってからずっと流す。これではやっぱり皆私どもの事務所に少ない人数でありましたが、お越しになってた方がいつ放送されるんなど。たまに入る結果、途中経過っていうて、これではあんまりにもちょっとお粗末すぎるやないかというような形で、選挙終わってからちょうど愛須総務課長にですね、当時総務課長でしたけども申し上げたことあるんですが、そんなに毎年毎年しないわけです。4年に一度民意を問うて、時の首長を決めたり、議員を選挙で決める、そういう白浜町の一大会の、これについての放送というのは、やっぱり我が町のFM放送局、もっとしつかりとやね、すべきであると。それはもう重々FM放送局に言うていただきたい。そのために費用が要るんだったら、それはもう請求していただいて、それが費用まで出してやるべきかどうかというのは議会に提出していただいて、当局が判断されたらいいと思うんですけども、その辺があまりにもお粗末すぎると。今、FM放送局さんには我々議会のほうの一般質問を編集して、無料で放送していただいておりますけれども、そういったことについても、FM放送局のほうから費用をちょっといただきたいというようなことあったら、おっしゃってくださいよというような形で申し上げてはおると思うんですけども、そんな形で協力していただける面はありますけども、同じやっていたら、速報やったら、もう少しリアルタイムにやっていたら、ちょっと皆さん何なというような形で町民の方おっしゃってました。それは重々町のほうからFM放送局に話をしといていただきたい。毎年やるわけでもないんですから、4年に一度の大事な首長を決める選挙であったり、議員を決める選挙であるんですから、その結果の報告の仕方というのをやっぱりFM放送局らしい、リアルタイムでやっていただきたいと、このような要望があったということは重々と言うていただきたいと思うんですけども、一言、言うてください。

○議 長

番外 副町長 愛須君

○番 外 (副町長)

おはようございます。今溝口議員のほうからご指摘いただきました。

確かに私総務課にいたときに、去年もちょうどこの議案審議のときにもご質問いただきまして、その後FM放送局とは協議をして、今回溝口議員からあったように放送はしていただけたんですけど、ただ内容的な部分でリアルタイムで中間発表的なものもなく、最終的に皆さんの得票数がほかのところのほうが早くって、地元FM放送局のほうが遅くなったというようなこと、また町民の方が聞いててすぐに分かりにくかったというようなお話も溝口議員のほうからお聞きして、それはFM放送局のほうにはお伝えしてありますが、再度きちんと町の選挙として行われる白浜町議会議員の選挙、また町長選挙についてはFM放送局をきちんと活用して、リアルタイムで皆様方の選挙の情報が町民の方の耳に入るように、再度FM放送局のほうにはお伝えしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

以上です。

○議 長

9番 松田君

○9 番

すみません、ちょっと関連になるんですけど、FM放送で災害時の情報なんですけど、昨日やったかな、2日前ですか、台風も接近してきて高齢者等の避難の、そういうのがでたんですけど、そういう災害時のリアルタイム的な放送でされてるんですか。ちょっと教えてください。

○議 長

番外 地域防災課長 木村君

○番 外（地域防災課長）

令和4年9月19日の台風14号に伴う放送につきましては、4時15分に暴風警報が発令されて以来36回の放送をしています。内容につきましては、台風情報、あとJALの欠航情報、JRの計画運休等リアルタイムに放送をしているところでございます

○議 長

9番 松田君

○9 番

すみません、そのリアルタイムの放送なんですけど、大体何分おきぐらいで放送されていますか。

○議 長

番外 地域防災課長 木村君

○番 外（地域防災課長）

時間帯は決まった時間帯ではないのですが、8時から10時の間は8回、11時から12時50分の間も8回、14時から17時までの間も6回、17時以降は4回、18時以降は8回、で22時40分の解除の際に1回というふうになってございます。

○議 長

9番 松田君

○9 番

できれば決まった時間帯にさせていただいたほうが、聞く方にとっては、今どんな状況かと

というのが分かりやすいかと思しますので、そこら辺いかがですか。

○議 長

番外 地域防災課長 木村君

○番 外（地域防災課長）

今回、幸いにして大きな被害等は出ておりません。大きな被害が発生する際には、中継を途中からやめて防災情報一本にするような契約になってございます。今おっしゃっていただいたような時間帯ということで、放送の合間にいけるかどうかも含めてFM放送局さんともお話をさせていただきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

○議 長

ほかに質疑ございませんか。

（なしの声あり）

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議 長

質疑を終結いたします。

報告第5号は以上で終わります。

（6）日程第6 報告第6号 令和3年度公益財団法人白浜医療福祉財団経営状況の提出について

○議 長

日程第6 報告第6号 令和3年度公益財団法人白浜医療福祉財団経営状況の提出についてを議題とします。

本案に対する質疑を行います。質疑ございませんか。

○議 長

10番 小森君

○10 番

8月下旬にですね、町議会と懇親会といたしましうか、懇談会が実施されましてですね、なかなか限られた時間なので質問させていただきたいことも、なかなかできる時間が限られてましたので、この場でちょっと伺いたいと思うんですけども。

2ページですね、医師の確保や看護師の確保っていうことが書かれています。8月下旬でもですね、報告あったんですけど、コロナ禍の大変な中でですね、やっぱり残念ながら看護師の方々がかなり離職されている統計もでていました。この資料の2ページのところにですね、やはり「当院の特色を打ち出し、行政、地域と一体となって人材確保に努めていくことが重要であり云々」と書かれています。はまゆう病院は、公益財団法人としてですね、新たな歩みを始めてもうかなりの年数がたっております。ある意味、この地域の特色を打ち出した医療体系をですね、機関を展開といいますか、充実していくということがずっとうたわれてきました。実際町長が理事長となって、やっぱり町と地域と病院が本当に密接な関わりの中で運用されてきたと思います。医師不足、看護師不足というのは、この20年全国の過疎地域

で叫ばれているんですけども、この大変な中でですね、町長、一体どういう形で人材を確保しようと考えておられるのか、やはりこれは今後2025年の団塊世代が75歳を迎えたときに、もっともっと必要となってくる時代が迎えようとしてますけど、やはり働き手の確保が本当に急務になってくると思うんですけども、そういうことも含めてお答えいただけませんか。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外（町 長）

8月30日に議会との懇談会が開催されまして、その中でもご報告させていただいたとおり、やはり今喫緊の課題は医師の不足、医師不足とそれから看護師の慢性的な不足ということで対応を求められております。その中で病院側としても、今現在医師不足に対しては、例えば今年6月には近畿大学のほうに行きまして、医学部のほうに陳情、私も含めて院長と行ってですね、お願いをしてきました。

現在、各いろんな診療科にまたがって医師が不足しております。特に内科、消化器、循環器、脳神経内科、リハビリテーション科、乳腺外科ということで、今回近畿大学には、特に内科と乳腺外科医師の確保ということでお願いをしてきたところでございます。

なかなかすぐというわけにはいかないと思いますし、先方にももちろん事情があるということで、大変厳しい感触を得て帰ってきたところでございますが、いずれにしましても、これからも他の和歌山県立医科大学あるいは京都府立医科大学、それから大阪市立大学とかいろんな方面で医師の協力をお願いをして、そしてまたそのことについては、派遣をしていただいとともございますので、やはり院長ともいろいろ相談しながら、病院とも相談しながらですね、今後も精力的に医師の確保については広く要望してまいりたいというふうに考えております。

それから、看護師不足につきましても、やはりこれは大きな課題でございます。慢性的に今不足しております、なかなか超過勤務が改善できなかつたり、退職者が増えるということで悪循環に至っているということがございますけれども、また新年度に入ってから、すぐに新たな看護師さんが採用されるんですけども、なかなかその後ですね、離職率が、2021年度の離職率は13.7%だったんですが、実際2020年度の17%よりは若干減少してるんです。それでもまだまだ13.7%ということは大変高い離職率になっております。

そういう中で全国平均を超えているということがございますので、何とかこの看護師さんの人員確保、これはやはり広くですね、募集をしていくというか、紀南地域で看護師さんを取り合っていますか、奪い合いしてもあまり意味がないので、やはり県内、あるいは県外からもですね、もしそういった可能性があれば看護師さんに来ていただくということで、広く広報して白浜はまゆう病院のアピールを、発信をしていきたいというふうに思っております。なかなか一朝一夕にはいかないと思いますけれども、病院側と連携しながら町といたしましてもできる限り協力をしてまいりたいというふうに思っております。

○議 長

10番 小森君

○10 番

やはりその今までいろいろと取り組んでくださってることは分かりますけども、なかなか

結果としてですね、医師にしても看護師にしても、また医療スタッフですよ、作業療法士、理学療法士等々含めて。やはりなかなか難しいのは分かりますけども、やはりそれを打開するためにですね、何らかの町独自の支援等をですね、検討するとか、何とか白浜町内の学生たちの中にやはりそういう道に進む方々がおられることと思います。実際紀南看護専門学校に進学されている方もいますし、また昨今では和歌山市にですね、医療関係の大学や学部も増設されています。何とか地元でそういう方々が雇用できるような取組というの、これは本当に考えていかないとですね、ただアピールとか訪問だけじゃ、また県独自では奨学金をだして、県内だったら何年か勤務すればそれが免除できるとかあるんですけども、その上に町独自の何らかのそういう支援をですね、設けるなどしてですね、何としてでも地元に戻っていただけるような取組というの、やはりこれは学生たちにとっては、大きな魅力の一つになるんじゃないかと願っております。

そういうことを積み重ねていかないと、なかなかそういう働き手の確保というのは、どの業者でもそうですけども、特にこのはまゆう病院がですね、新しい組織として町と地域と病院がですね、ある意味連携を深めて歩んできたんであるんであれば、そういうことをやはりもう一歩進んだ形の支援等を考えていただければ、少しでも改善される余地があると思ってちょっとこの場で申させていただいたんですけど、何か町長のほうから。

○議 長

番外 町長 井潤君

○番 外(町 長)

やはり医師不足、看護師不足の根本的な要因が何かということは、絶えず考えております。

なかなか今医師につきましては、和歌山県全体では足りているといいますか、全体的にはおるんですけども、なかなか紀北のほうに偏在しておりまして、紀南が非常に少ないというふうないびつな状態になっております。これはなかなか紀南のほうのはまゆう病院のみならず、この紀南地域の医療圏に来ていただけないというのが実態でございますけれども、やはりここは病院側ともですね、協力しながらですね、できるだけアンテナを張って全国からいろんな方々にも、もちろん今も功を奏しての部分がありますけれども、まだまだ足りませんのでそこはしっかりとこれから実現に向けて、医師の確保に向けて取り組んでいきたいというふうに思っております。

それから看護師につきましても、今ご提案いただいたようなそういったこともあらゆる手を使ってですね、やはりこれから看護師を確保していきたいと思っております。なかなか今のコロナ禍の中で仕事がハードで大変だということもあってですね、離職される方の、必ず私のほうにレポートがきます。どういう事情でどういう方が離職されているかということも、本当によく目にしますけれどもいろんな事情ございます。一般的に家庭の事情とか個人の情報でなかなかだせませんけれども、そういったいろんな事情がございまして、仕事の関係あるいは待遇の関係、処遇の関係ですね、その辺もなかなか一気に上げていくということではできませんけれども、やはりこれは国やとかあるいはほかの関連の病院とのそういった条件も踏まえながらですね、処遇の改善もしていかなければ、なかなか離職率は下がらないのかなというふうに思っております。そういうことも含めて今後、特に看護師につきましては不足になっておりますので、せつかくベッドがあっても病床が足りてもですね、看護師の不足で受け入れられないとか、そういったことになっては言語道断でございますので、その辺は

ですね、しっかりと病院側と協議しながら取り組んでまいりたいというふうに思いますので、ご理解いただきたいと思います。

○議 長

ほかに質疑ございませんか。

(なしの声あり)

○議 長

質疑を閉じることにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

質疑を終結いたします。

報告第6号は以上で終わります。

暫時休憩します。

(休憩 10 時 36 分 再開 10 時 40 分)

(7) 日程第7 発議第4号 議員派遣について

○議 長

再開します。

日程第7 発議第4号 議員派遣についてを議題とします。

白浜町議会会議規則第128条の規定による議員派遣について、お手元に配布のとおり決定することにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

したがって、議員派遣についてはお手元に配布のとおり決定いたしました。

(8) 日程第8 発委第10号 閉会中の継続調査申出書 (議会運営委員会・総務文教厚生常任委員会・観光建設農林常任委員会・議会広報特別委員会)

日程第9 発委第11号 閉会中の継続審査申出書 (決算審査特別委員会)

○議 長

日程第8 発委第10号 閉会中の継続調査申出書、日程第9 発委第11号 閉会中の継続審査申出書を一括議題といたします。

各委員長の申し出のとおり、それぞれの委員会において閉会中も調査または審査を継続することにご異議ありませんか。

(異議なしの声あり)

○議 長

異議なしと認めます。

したがって、各委員長から申し出のとおり、それぞれの委員会において閉会中も調査または審査を継続することに決定しました。

これをもって令和4年第3回定例会に付議された事件は全て終了いたしました。

閉会にあたり町長から挨拶の申し出がありますので、この際、これを許可します。

番外 町長 井澗君（登壇）

○番外（町長）

閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

9月6日に本定例会を招集させていただき、本日まで議員各位には提案いたしました案件をはじめ、町政全般にわたり鋭意ご審議をいただき誠にありがとうございました。

本定例会におきまして、議員各位から賜りました貴重なご意見、ご提言を真摯に受け止め、行政運営にいかしながら各種施策のより一層の進捗を図ってまいりたいと存じます。

今後とも議員各位のご指導、ご鞭撻をいただきながら、町政の進展に職員とともに一丸となって全力を尽くす覚悟でございますので、よろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策につきましては、引き続き国や県、保健所、近隣市町、町内関係団体等との情報共有を図るとともにご承認いただきました各種事業やワクチン接種事業等、引き続き各種施策に鋭意取り組んでまいります。

簡単ではございますが、閉会のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長

挨拶が終わりました。お諮りします。

本日はこれをもって白浜町議会令和4年第3回定例会を閉会したいと思います。

閉会することにご異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○議長

異議なしと認めます。

したがって、白浜町議会令和4年第3回定例会はこれをもって閉会いたします。

議長 正木 秀男は、10時44分閉会を宣した。

地方自治法第123条第2項の規定により下記に署名する。

令和4年9月21日

白浜町議会議長

白浜町議会議員

白浜町議会議員